

## 秋田大学 情報データ科学部（仮称）の設置に係る入学定員及び入学試験科目について

本学は、令和7年度に情報データ科学部（仮称）を設置する予定です。本年4月以降に設置認可に関する審査を受ける予定ですので、下記の内容は審査結果により変更することがあります。

## ① 入学定員の変更予定について

令和6年度まで		令和7年度から	
学部・学科名	入学定員	学部・学科名	入学定員
国際資源学部	(120)	国際資源学部	(120)
国際資源学科	120	国際資源学科	120
教育文化学部	(210)	教育文化学部	(190)
学校教育課程	110	学校教育課程	110
地域文化学科	100	地域文化学科	80
医学部	(230)	医学部	(201)注2
医学科	124	医学科	95注2
保健学科	106	保健学科	106
理工学部	(395)	総合環境理工学部	(315)
生命科学科	45	応用化学生物学科	100
物質科学科	110	環境数物科学科	90
数理・電気電子情報学科	120	社会システム工学科	125
システムデザイン工学科	120		
		情報データ科学部	(100)
		情報データ科学科	100
合計	955	合計	926

注1 ( ) 内は学部の計。朱書き箇所は変更予定部分。

注2 令和7年度の医学部医学科の入学定員は、令和6年度の入学定員を継続するよう申請予定です。

## ② 入学試験の概要について

## ○募集人員

情報データ科学部 情報データ科学科

入学定員	一般選抜		特別入試	
	前期日程試験	後期日程試験	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ
100名	60名(※1)	10名	20名	10名

※1 前期日程試験の募集人員は、a型（文系・理系）35名、b型（理系）25名とする予定。

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。



ク 英語にはリスニングテストを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。

ケ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【新教育課程履修者】

地理歴史、公民、数学および情報において、旧教育課程履修者等に対する経過措置科目を選択解答することはできません。

【旧教育課程履修者】

ア 地理歴史および公民において、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせることはできません。

イ 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士を選択することはできません。

ウ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。

【個別学力検査等】

前 期 日 程								後 期 日 程				
教 科 等								備考	教科 (数学※1)	小論文	面接	備考
国語	数学	英語	理 科				その他					
			物理	化学	生物	地学						
	※1	※2					※3				※4	
×	◎	◎	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎
	1	1						1		1	1	◎

◎は必ず受験を要する科目等、×は受験を要しない科目等、○は選択して受験を要する科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 数学の出題範囲は、新教育課程履修者と旧教育課程履修者いずれにも配慮し、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲からとします。

※2 英語の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲとします。

※3 前期日程の数学における文系型と理系型での出題範囲は以下のとおりです。

(1) 文系型：数学Ⅰ、数学Ⅱの出題範囲は、高等学校新学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。

(2) 理系型：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの出題範囲は、高等学校新学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

※4 後期日程の数学の出題範囲は以下のとおりです。

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲの出題範囲は、高等学校新学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

【試験科目・配点】(大学入学共通テスト欄のカッコ書きは、(配点×傾斜割合×科目数)です。)

#### 前期日程試験

パターン	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	調査書	合計	
a型 文系	大学入学 共通テスト	220※1 (110×2.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		970	2300
	個別学力 検査等			800		500		30	1330		
a型 理系	大学入学 共通テスト	220※1 (110×2.0×1)	100 (100×1.0×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		970	2300
	個別学力 検査等			800		500		30	1330		
b型 理系	大学入学 共通テスト	110※1 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	25 (100×0.25×1)		485	1800
	個別学力 検査等			800		500		15	1315		

#### 後期日程試験

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	
大学入学 共通テスト	110※1 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		500 (100×2.5×2)	100 (100×0.5×2)	300 (200×1.5×1)	50 (100×0.5×1)		1110	1410
個別学力 検査等				100				200	300	

※1 大学入学共通テストの「国語」は、「近代以降の文章」のみ(素点は110点)を利用します。

#### 2) 総合型選抜Ⅰ

選抜方法	配点	備考
講義レポート	30点	講義を受講した後、その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ、提出する。
面接	70点	面接(数学分野に関する知識についての質問を含む。)
合計	100点	

面接における数学の出題範囲は、新教育課程履修者と旧教育課程履修者いずれにも配慮し、以下のとおり新教育課程と旧教育課程の共通の範囲からとします。

- (1) 新教育課程：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cとします。数学Ⅰ、数学Ⅱの出題範囲は、高等学校新学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。
- (2) 旧教育課程：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bとします。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの出題範囲は高等学校旧学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

### 3) 総合型選抜Ⅱ

#### 【大学入学共通テスト】

パターン	受験を要する教科・科目名																																														
	国語	地理歴史						公民				数学						理科				外国語		情報																							
	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、世界史探究	歴史総合、日本史探究	地理総合／歴史総合／公共	旧世界史A	旧世界史B	旧日本史A	旧日本史B	旧地理A	旧地理B	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	旧現代社会	旧倫理	旧政治・経済	旧倫理・旧政治・経済	旧倫理・旧政治・経済	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	旧数学Ⅰ	旧数学Ⅰ・旧数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C	旧数学Ⅱ	旧簿記・会計	旧情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ	旧情報(仮称)					
①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
1																					1																										
②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1																					1																										
③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1																					1																										
④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1																					1																										

☒部分は「旧教育課程履修者に対する経過措置」に係る科目です。新教育課程履修者は選択解答できません。

◎は必ず受験を要する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

#### [新旧教育課程履修者共通]

- ア 国語は「近代以降の文章」の得点のみを合格判定に用います。
- イ 上記の教科・科目一覧表において、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎は、大学入学共通テストの受験教科・科目上では理科「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」として1科目扱いとなり、この中から必ず2つを選択し受験することになります。
- ウ 理科で「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」と「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、理科の試験時間において「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- オ 地理歴史および公民の「地理総合/歴史総合/公共」を受験する場合は、この中から必ず2つを選択し受験することになります。
- カ 地理歴史および公民においては、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また、「地理総合/歴史総合/公共」を選択した者は、選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。
- キ 大学入学共通テストで1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ク 英語にはリスニングテストを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算して利用します。

※記載の内容は構想中のものであり、今後、変更となる場合があります。

ケ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

[新教育課程履修者]

地理歴史、公民、数学および情報において、旧教育課程履修者等に対する経過措置科目を選択解答することはできません。

[旧教育課程履修者]

ア 地理歴史および公民において、新・旧の異なる教育課程の科目を組み合わせるとはできません。

イ 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士を選択することはできません。

ウ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。

【試験科目・配点】

試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	合計	
大学入学 共通テスト	110※1 (110×1.0×1)	100 (100×0.5×2)		300 (100×1.5×2)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		810	900
個別学力 検査等		50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)				90	90	

※1 大学入学共通テストの「国語」は、「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。